輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

令和４年度修了式。保護者の皆様ありがとうございました!

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

昨日、6 年生 28 名がこの中番小学校を巣立ちました。新しい中学校という舞台へ、全力で駆け上がって欲しいと願っています。卒業生に二つ話をしました。**一つ目は、どんな時も前を向いて進んで欲しいということです。**今や予測困難な時代、しかし、どんな時代が来ようと、決して変化を恐れないこと、真っ直ぐに前を見つめ、仲間と手を携え、一歩一歩その歩みを進めて欲しい。何より誠実であれ、夢は大きく希望を持ち続けること。ちょっとやそっとでへこたれるな。決して折れるな、しなやかであれ。失敗してもその悔しさばねに再び立ち上がれ。**二つ目は、学び続ける人になって欲しいということです。**失敗を恐れないこと、失敗は恥ずかしいことではなく、失敗は宝物、失敗は勲章、失敗はチャンスです。そして、自分で自分の限界を決めないこと。いつも「本気」を出すこと。本校の学校教育目標である**「地球的視野に立ち 志高く しなやかに 逞しく未来を生き抜く」**人になって欲しい。そして、「自分はこれだ。このことだけは絶対に誰にも負けない。」というものを見つけて欲しい。自信があるものを持っているということは、何より自分を強くします。自分を守ってくれます。どんな時も、やる気と前に進む推進力を授けてくれます。自分の背中を力強く押してくれます。卒業生の皆さんには、狭い、小さな場所に、縮こまることなく、もっと、もっと、広い世界へ飛び出して欲しい。「世界を見ろ！そして、世界へ飛び出せ！」皆さん一人一人には、その力が必ず備わっています。皆さんは、無限の可能性に満ち溢れた、光り輝く原石なのです。自分を磨き、信じ、勇気をもって、まず一歩、踏み出してください。必ず、道は拓かれます。皆さんの十年後、二十年後を楽しみしています。そんな話をしました。今日、令和４年度修了式となりました。子供達にとって、令和４年度はどのような一年だったのでしょうか。充実した、満足できる、達成感のある一年だったのでしょうか。それとも何か物足りない、何か後悔が残る、少し残念な気持ちが残る一年だったのでしょうか。当然、全てがよい、全てが悪いというものではないと思います。よい面と悪い面、その両方があるはずです。総じてどうだったのか、一度、振り返って欲しいと思います。ここ数日、日本は WBC（WORLD BASEBALL CLASSIC）一色でした。ご覧になられた方も多かったのではないでしょうか。侍 JAPAN の選手のプレーが、思いが、見る者に感動を与えました。決勝戦前、MVP の大谷選手の「憧れるのはやめましょう。憧れてしまっては超えられない。憧れを捨てて勝つことだけを考えていきましょう。」という仲間への言葉がありました。何と力強い言葉でしょう。勿論、世界という大きな大きな舞台で活躍する人ならではの言葉なのかもしれません。常に一歩先を見据える視線、限界を超えていく凄まじいエネルギーを、パワーを感じました。

子供達は、この一年間本当によく頑張りました。それぞれの学年を修了します。おめでとう。是非、お家で子供達を褒めてあげてください。子供達のその成長は一人一人違います。子供達にとって成長の無い一年はありません。大きな成長、小さな成長、僅かな成長、その成長の全てが子供達の学びです。そして、今日を無事迎えられるのは、この一年間、子供達を日々支えてくださったお母様、お父様、ご家族の皆様、地域の皆様、中番小学校の多くの先生方、他にも、直接目には見えないけれど、分からないけれど、多くの皆様の献身的な支えがあってのことだと感謝申し上げます。誠にありがとうございました。**さあ、明日から春休み。その目標は、①リフレッシュそしてリセット②エネルギーの充填③新学年の心と体の準備し、全員、４月７日に元気に学校に来ること。そして、４月 10 日に入学してくる新１年生と一緒に、新しい中番小学校の令和５年度物語を作っていきましょう。**一年間、本当にありがとうございました。